

令和2年7月九州豪雨地盤災害調査最終報告会

# 令和2年7月 九州豪雨地盤災害調査状況報告 調査方針の説明

地盤工学会九州豪雨地盤災害調査団長

椋木俊文（熊本大学・くまもと水循環・減災研究教育センター）



# 謝辞

調査のために情報提供いただいた  
国土交通省九州地方整備局、  
熊本国道河川事務所道路課、  
熊本県土木部

八代地域振興局、球磨地域振興局  
玉名地域振興局、芦北地域振興局  
砂防課、農林部

福岡県土木部、大分県土木部、長崎県土木部  
宮崎県土木部、鹿児島県土木部

九州建設技術管理協会

に謝意を表します。

# 調査団結成まで

7/4 九州南部で**特別警報発令**（熊本では初）

7/5 **調査団先遣隊発足**

熊本県テックドクターとして芦北周辺を調査（熊本大学）

7/6 九州北部で**特別警報発令**（福岡では3度目）

本部より調査団発足依頼あり（組織編成開始）

7/8 熊本・**津奈木・芦北方面斜面災害**調査（熊本大学）

鹿児島県**薩摩川内市** **百次川堤防被災**調査

鹿児島県**長島町**の**道路損壊**調査（鹿児島大学），

宮崎県**西米良村付近、都城**の**道路損壊**調査（宮崎大学）

7/9 鹿児島県鹿屋市，**肝属郡錦江町** **道路損壊**調査（鹿児島大学）

7/13 **調査団発足**（団長・副団長・幹事長会議）

7/16 熊本県北部土石流災害調査（熊本大学）

7/17 **調査団幹事会**



# 調査団構成

コロナウィルス感染拡大防止の観点から、  
基本的に越県調査はせず、各地域の団員で調査（自治体と要連携）

## 7/17 第一回幹事会開催

災害連絡調整会議本部連絡委員：岸田潔総務部長（京都大学）  
災害連絡調整会議九州地方連絡委員：安福規之（九州大学）

団長：椋木俊文（熊本大学）

副団長：末次大輔（宮崎大学）

幹事長：酒匂一成（鹿児島大学）

幹事：

（熊本・鹿児島・宮崎グループ）

福林良典（宮崎大学）

（福岡・大分グループ）

石藏良平（九州大学）

工藤宗治（大分工業高等専門学校）

（佐賀・長崎グループ）：

日野剛徳（佐賀大学）

杉本知史（長崎大学）

九州各地域から  
合計30名程度の調査団を結成

団員  
(熊本・鹿児島・宮崎)

伊藤 真一	鹿児島大学
神山 惇	宮崎大学
脇中 康太	熊本高等専門学校
中川 智博	基礎地盤コンサルタンツ (株)
梅崎 基考	(株) アバンス
山下 隆之	(株) アバンス
本田 信孝	(株) 日本地下技術
伊集院 弘尚	九州工営 (株)
今藺 淳司	(株)水野建設コンサルタント

団員  
(福岡・大分)

村上 哲	福岡大学
古川 全太郎	九州大学
山本 健太郎	西日本工業大学
矢ヶ部 秀美	NPO法人ジオセーフ
平江 文武	日本地研(株)
田中 聡	日本地研(株)
前田 秀喜	西日本技術開発(株)
井上 徹郎	西日本技術開発(株)
東風 平宏	基礎地盤コンサルタンツ(株)
池見 洋明	日本文理大学
後藤 優文	タナベ環境工学(株)
吉田 修一	明大工業(株)
加茂 豊博	ソルテック(株)
佐藤 秀文	平成地研(株)



団員 (長崎・佐賀)	柴 錦春	佐賀大学
	根上 武仁	佐賀大学
	喜連川 聡容	(公財)佐賀県建設技術支援機構
	蔣 宇静	長崎大学
	大嶺 聖	長崎大学
土木学会協カメンバー	浅井 光輝	九州大学
	田井 明	九州大学

この他調査団協カメンバーとして調査にご協力いただきました

# 調査方針（壊れていないインフラもチェック）

## 現地調査

1. **斜面崩壊**：崩壊メカニズム（深層、地すべり、土石流など）
2. **道路損壊**：損壊メカニズム（崩壊発生因子に斜面崩壊を含むか？）
3. **河川堤防**：損傷メカニズム（逆越流・パイピング）
4. **橋梁基礎**：損傷メカニズム
5. **二次災害の危険個所の特定**（自治体と連携）

# 活動履歴

## 熊本・鹿児島・宮崎

7月16日	熊本グループ調査
7月18日	熊本グループ調査
7月22日	宮崎グループ会議
7月23日	各グループ調査
8月6日	第1回地区会議
8月18日	鹿児島グループ調査
8月29日	熊本グループ調査
9月2日	宮崎グループ会議
9月11日	宮崎グループ会議
9月15日	宮崎グループ会議
11月17日	鹿児島グループ調査
12月1日	宮崎グループ会議
3月31日	熊本グループ会議

## 福岡・大分

7月17日	第1回地区会議
7月23日	福岡グループ調査
7月25日	大分グループ調査
7月26日	福岡グループ調査
7月30日	福岡グループ会議
8月1日	大分グループ調査
8月2日	大分グループ調査
8月13日	福岡グループ調査
8月22日	大分グループ調査
8月23日	大分グループ調査
9月3日	第2回地区会議
10月14日	福岡グループ会議
10月29日	福岡グループ会議
11月2日	福岡グループ会議

## 長崎・佐賀

8月3日	長崎グループ会議
8月28日	長崎グループ調査
9月10日	長崎グループ調査
12月11日	長崎グループ会議
1月15日	長崎グループ会議

調査団発足以降8回（月一回のペース）のオンライン幹事会開催  
メールやSlackを活用し、こまめな情報共有ができた

## 調査団としての活動

- ▶ 2020/9/28 本部主催 中間報告会
- ▶ 2021/2/25 Geo-disaster report発行  
(Soils & Foundations)
- ▶ 2021/5/28 本部主催 最終報告会
- ▶ 2021/6 調査報告書を提出予定

## 分析方針（入力条件、境界条件を確認）

1. **気象履歴**（降水量、土壌雨量指数の変化）
2. **災害履歴＋既設インフラとの関係**
3. **地質・地形**（風化土？火山灰質粘土？  
九州地盤情報データベース等の活用）
4. **これまでの報告書・提言書のフィードバック**

# 本日の報告会（前半）

13:45～14:05（15分） 気象・降雨特性

コーディネーター：村上哲（福岡大学）

14:00～14:30（30分） 斜面の災害

コーディネーター：酒匂一成（鹿児島大学 調査団幹事長）

14:30～15:00（30分） 道路の災害

コーディネーター：福林良典（宮崎大学）

15:00～15:15（15分） 質疑応答

15:15～15:30（15分） 休憩

# 本日の報告会（後半）

- 15:30～15:50（20分） 河川・ため池の災害  
コーディネーター：石蔵良平（九州大学）
- 15:50～16:05（15分） 橋梁基礎の災害  
コーディネーター：椋木俊文（熊本大学 調査団団長）
- 16:05～16:20（15分） 令和2年度7月九州豪雨災害の教訓  
末次大輔（宮崎大学 調査団副団長）
- 16:20～16:35（15分） 質疑応答
- 16:35～17:00（30分） 今後の指針  
岡村未対（愛媛大学 地盤工学会副会長，災害連絡会議座長）

# それでは 報告会を始めます

